

現行都市マス 第3章 全体構想 ～都市の将来像～		現行
第3節 目標とする都市の姿 （都市が持続するために必要な5つの基本要素）	【環境】 地球環境への負荷が 少ない都市	人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現による低炭素型の都市 エネルギーを有効活用した低炭素型の都市 緑を活かした低炭素型の都市
	【経済】 活力ある都市	にぎわいのある都市 ものづくり都市 質の高い観光都市
	【生活】 誰もが快適に暮らす こころのできる都市	地域の個性をいかした、快適性と利便性の高い都市 暮らしやすい生活圏がネットワークする都市 多様な地域コミュニティ活動が盛んな都市
	【文化】 創造的に活用する都市	歴史的な町並み景観を守り、育む都市 京町家や庭園などの歴史・文化資源を活用する都市 京都ならではの文化を継承・創造する都市
	【安心・安全】 安心で安全な都市	災害に強い歴史都市 ユニバーサルデザインの理念に基づいた都市

拡充する3つの視点と将来像の検討		
① 新たな時代の「職住共存・職住近接」	② 広域的な視点と「都市圏」	③ これからの「暮らしと営み」に対応したまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 移動距離や通勤時間の短縮により、脱炭素型社会の実現に貢献する都市 自然や文化など、京都ならではの多様性・豊かさをいかして、暮らしの中に環境が共生する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 京都都市圏全体の活力の向上により東京一極集中の是正に貢献する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 都心の中にも緑とうるおいのあふれる魅力的なオープンスペースが充実する都市（グリーンインフラ） 再生可能エネルギーの有効かつ効率的な利用を促進する都市（スマートシティ）
<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域にも働く場や暮らしを支える機能、ゆとりと付加価値のある空間が広がり、市域にわたってにぎわいのあるクリエイティブな都市 自然や農業などの多様な資源もいかして就業機会の確保につなげる市民生活と観光が調和する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 創造ゾーンを新たなコアに京都都市圏の更なる活力を創出する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の中にも歩きたくなる魅力的な空間が充実する都市（ウォークブルシティ） ICTの導入やデジタル化により、快適で生産性の高い都市活動が実現できる都市（スマートシティ）
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが働きやすく、快適に暮らし、子育てのしやすい真のワーク・ライフ・バランスを実現できる都市 身近な生活圏で「職住」のみならず「学遊」などの多様な機能が融合した都市 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣都市とともに生活圏を形成する地域の特徴をいかし、相互の住民にとって利便性が高まり、交流が活性化する都市 	<ul style="list-style-type: none"> ヒューマンスケールな地域の魅力が身の回りにあふれ、誰もがいきいきと活動でき、健康な暮らしが実現できる都市 コロナ時代に対応して地域で暮らし、働き、学び、訪れる多様な人々が担い手となり、誰もがつながり支え合うことのできるコミュニティが形成される都市
<ul style="list-style-type: none"> 歴史に培われた生業と生活が結びついた京都らしい職住共存の魅力が次世代にも受け継がれる都市 京町家を活用して起業が進むなど、新旧の魅力が融合する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 京都に蓄積された歴史的な景観や文化資源の魅力を一体的に発信するなど、世界に向けて独自の求心力を発揮する都市 	<ul style="list-style-type: none"> 京都の歴史や文化、大学、伝統・先端産業など、地域の特性をいかし、新たな魅力や価値を継承・創造する個性豊かな都市（学術文化・交流・創造ゾーン）
<ul style="list-style-type: none"> 機能の分散化・多核化により、災害時等のリスクを低減・回避できる強靱なレジリエント都市 コロナ社会においても、京都ならではの安心・安全な暮らしを実現できる都市 	<ul style="list-style-type: none"> より広域的な視点から防災・減災に備える災害に強い安心・安全な都市 	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策とまちづくりが連携した安心・安全な都市（災害リスク評価と対策、流域治水等） 農地や山林の保全など、防災・減災にもつながる生物多様性の都市（グリーンインフラ）